文芸・人文 ご担当者様

# ●配本部数指定のお願い●

芙蓉書房出版
〒162-0805
東京都新宿区矢来町 113-1
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL:03-5579-8295

新刊【委託】 １月中旬取次搬入予定

# 明治の文人が語った「江戸の名残」

◇“当事者”に近い文人が書き、話した「江戸」のアンソロジー本◇

江戸の記憶編集工房 編／A5 判 並製 320 頁／本体：3,000 円

## 消えゆく「江戸」の「記憶」を鮮やかに蘇らせる 50 編！

NOW PRINTING

三田村鳶魚・岡本綺堂・宮武外骨・河竹繁俊・山下重民・斎藤隆三・森銑三・綿谷雪・原胤昭らの作品。図版 85 点を収録。

《収録論稿一覧》

1 江戸のおもかげを観る
目に見えた江戸の名残／年中行事に残る江戸のおもかげなど4編

2 江戸っ子の心意気
江戸ッ子の話／いわゆる「江戸っ児気質」／宵越しの金を持たない江戸気質／江戸ッ子の鼻ッ張／江戸っ児貧乏江戸っ子の駄洒落など 10 編

3 花見は一大イベント
江戸のお花見／上野の花見／飛鳥山の花見／江戸の梅見など5編

4 盛り場・芝居・見世物
江戸の芝居／猿若町三座の沿革／芝居茶屋／芝居の稲荷町／江戸の大道芸／両国の見世物／見世物としての女相撲／江戸時代の富興行など 11 編

5 祭りの熱狂
江戸の祭さまざま／山王祭と神田祭など6編

6 仕事・暮らし・娯楽あれこれ
物売りの姿いろいろ／床屋と町内の廻り髪結／むかしの魚市場／飲食三昧の江戸／料理屋の今昔／おけいこと手習／戯作者の原稿料と出版部数など 10 編

**配本部数申込締切は 12 月 26 日(木)です。FAX:03-5579-8786**

| 番線印 | 発行　芙蓉書房出版 | 注文数 | 担当者 |
|---|---|---|---|
| | 明治の文人が語った「江戸の名残」 | | |
| | 1 月新刊　本体 3,000 円 | | |
| | ISBN978-4-8295-0893-0　C0095 | 部 | |